



# くがに

自主・自主・共働・共助

公益社団法人  
南城市シルバー人材センター  
南城市玉城字富里167番地  
電話 (098) 852-6655  
ファクス (098) 852-6656  
e-mail:nanjo@sjc.ne.jp

## 「事故ゼロ」「安全第一」目標

# 平成28年度定時総会開催



平成28年度定時総会で挨拶する大湾理事長



三線でカーリーをつけ交流会に花を添える会員

### 受注額1億2千万円 めざしてガンバロウ!

平成28年度定時総会が、5月31日午後2時から南城市中央公民館1階ホールにおいて開催され、議案4件、報告事項3件が全会一致で可決承認されました。

引き続き行われた会員交流会では、会員の唄・三線・舞踊や玉城青少年の家の茶川大樹専門職員のバルーンショーもあり、会場は和気あいあい、和やかな雰囲気になりました。

定時総会には、沖縄県連合の翁長盛正副会長、各拠点センターの理事長及び南城市長の名代、玉城勉企画部長や市議会

は、奥原和則理事の司会で進められ、議長に玉城貞雄会員を選出した後、総会員数294名中、出席会員105人、委任状60人、計165人で、定足数を充たしていることが報告され、議案審議に入りました。

第1号議案平成27年度事業報告、第2号議案平成27年度収支決算、監査報告、報告第1号が関連事項として一括審議に付され、会場から、堆肥「くがに1号」

の販路拡大や会員への還元、就業中のけが防止策や講習会の開催などについて意見や要望等が出されたのち、全会一致で原案可決承認されました。また、議案3号役員選任では特別会員の玉城勉氏が理事に選任されました。

議案第4号理事長に対する権限委任、報告第2号平成28年度事業計画、報告第3号平成28年度収支予算についても原案可決承認されました。(2・3面に関連)

シルバーで 知恵の輪 人の輪 社会の輪  
入会まっちょ〜いび〜んどー  
(公社)南城市シルバー人材センター  
電話 (098) 852-6655

### 課題解決に ご協力とご尽力を

大湾理事長が呼びかけ  
大湾政松理事長は、定時総会におけるあいさつの中で「本シルバー人材センターの抱える喫緊の課題は、会員拡大と就業拡大、安全・適正就業の徹底による「事故ゼロ」を目指すこと。」を強調、「これらの課題解決には組織を挙げて取り組まなければならない大きな事項である。」と述べました。

本センターの契約額は、設立以来、順調に伸展しているとはいえ、今後、更なる発展を期すには、会員拡大と、就業拡大は避けては通れない永遠の課題でもある。また、安全・適正就業による「事故ゼロ」についても、同様であり、全会員のご協力とご尽力を切にお願い申し上げます。

## しまジマ 散歩 パート16 佐敷字小谷

小谷はコタニではなくオコクと読む。ウチナーグチではウククである。

集落は、県道沿いの平地とヤンバルのような緑豊かな森林に抱かれた斜面に展開する。静寂と安らぎの集落である。面積は、64万平方メートル(19・36万坪)、103世帯、289人(男性150人、女性139人)で区長は知念松夫さん。

集落内は坂道が多く、昔から「小谷、新里(うくく・しんざと)やチンシ(ひぎ) 割いどうくる(所)」と詠まれた程である。区民は足腰が鍛えられ、それが健康長寿に結びついているようだ。小谷といえは「小谷パーキ(ざる類)」で有名だ。耕地が少ないため副業として竹細工が発展した。明治期の竹傘から始まり、その後ザル作りが主流となった。アラパーキ(農作物用)、ミゾーキー(米

戦前は、竹細工組合を結成し共同出荷を行うなど盛んで明治、大正、昭和にわたってパーキ作りに取り組み、小谷パーキは生活必需品として、県下で広く重用された。時代は移り「小谷パーキ」も安いプラスチック製品に押されて衰退。最近では若い後継者もいて、伝統の継承と復興の兆しも芽生えている。

小谷の魅力に着目した南城市商工会は、地域活性化支援事業として4年前から区と連携して観光コースの「うくくマリー(廻り)」



うくくマリーでの竹細工実演

### 南城市シルバー 推進大会開催

7月27日午後2時  
南城市シルバー人材センターでは、全国の「安全・適正就業推進強化月間」の一環として、毎年開催している「安全・適正就業推進大会」を7月

2 シルバー人材センター連合で取り組む事項  
(1) 拠点センターに対する指導助言  
(2) 安全大会の実施、安全表彰の実施  
(3) 研修会、講習会の実施  
(4) 巡回パトロールの実施  
(5) 拠点センターの月間行事の指導助言  
3 全国事業協会で取り組む事項  
(1) 安全就業優秀・優良団体の選定・表彰  
(2) 安全・適正就業指導員会議の実施  
(3) 保険事故の要因分析と再発防止のフォローアップ  
(4) その他啓発用冊子の作成等予定  
以上、三者が各計画実施し効果的に取り組むことにしています。

うだるような暑さが続くこの頃、真っ赤に熟れたスイカを見ると一服の清涼感と、夏本番だなどと実感する。ところが、ままならぬが世の常、九州、特に熊本県では4月の震災から余震におびえ、豪雨に見舞われ、「泣らん泣らん」真に踏んだり蹴つたりの心境だと思ふ。心からお見舞い申し上げます。次第です。一方、関東では降雨量が少なく、水源であるダムの取水制限を余儀なくされている有様、「なさけーねーらん、うていんがなしー」(情けない天の神様)である。折しも、安全・適正就業強化月間中である。健康には十分留意してこの夏を乗り切りたいものです。中村

## 安全・適性就業強化月間

### スローガン「見逃すな ヒヤリで済んだあの経験」

期間：平成28年7月1日〜7月31日

全国シルバー人材センター事業協会においては、重篤事故撲滅を目標として、毎年7月を安全・適正就業強化月間と定め、全国一斉に取り組んでいます。今年も、「見逃すな

ヒヤリで済んだあの経験」をスローガンに、次のとおり取り組みることとしています。

1 シルバー人材センターで取り組む事項  
(1) 安全・適正就業委員会の開催、安全・適

正・就業対策基本計画の策定及び事故要因の分析と具体的防止策の徹底  
(2) 重篤事故につながる就業の見直し  
(3) ヒヤリ・ハット体験事例の収集、要因分

析、事故防止の徹底  
(4) 就業途上における交通事故の防止  
(5) 安全就業対策の総点検の実施  
(6) 安全・適正就業研修及び点検  
(7) 安全標語の募集、就業現場等への掲示  
(8) 会報等への安全意識啓発記事の掲載  
(9) 月間中「安全意識高揚の日」設定、表彰の実施。情報の共有化

### 編集後記

うだるような暑さが続くこの頃、真っ赤に熟れたスイカを見ると一服の清涼感と、夏本番だなどと実感する。ところが、ままならぬが世の常、九州、特に熊本県では4月の震災から余震におびえ、豪雨に見舞われ、「泣らん泣らん」真に踏んだり蹴つたりの心境だと思ふ。心からお見舞い申し上げます。次第です。一方、関東では降雨量が少なく、水源であるダムの取水制限を余儀なくされている有様、「なさけーねーらん、うていんがなしー」(情けない天の神様)である。折しも、安全・適正就業強化月間中である。健康には十分留意してこの夏を乗り切りたいものです。中村

27日(水)午後2時から南城市中央公民館1階ホールにおいて開催します。今回は、南城市玉城宇船越の整形外科「ロコモクリニック南城」の上原敏則院長をお招きして、健康講話を予定しています。ご来場を待っています。

28年度理事会の動き

- 第1回理事会 平成28年5月19日(水)
- 第1号議案 正会員の入会承認  
原案承認(6人入会)
- 第2号議案 平成27年度事業報告  
一部訂正の上、可決
- 第3号議案 平成27年度収支決算及び監査報告  
原案可決
- 議案第4号 役員補充候補者選任  
原案可決
- 議案第5号 平成28年度定時総会日程  
原案可決
- 報告第1号 4月度事業実績報告
- 報告第2号 玉城青少年の家事業実績報告

◎理事に玉城勉氏選任◎



玉城勉さん  
平成28年度定時総会に理事の欠員補充の人事案件が提案され、特別会員の玉城勉氏が選任されました。(任期は29年3月まで)  
玉城氏就任の弁

平成28年4月1日、南城市の人事異動で企画部長(シルバー人材センター担当部長)に就任した玉城さん。就任にあたって次のように述べました。  
「健康寿命が延び、高齢者の活躍できる場がますます増え、高齢者が健やかに元気で頑張れる社会の構築は、行政にとっても大きな課題であります。今般、理事に選任され、行政側からシルバー会員の皆さんの就業機会の確保・拡大が図れるよう支援して参りますので、よろしくお願い致します。」



指定管理が結ぶ縁 玉城青少年の家に友情の椿園



沖縄県立石川青少年の家と玉城青少年の家が、平成23年4月1日から指定管理に移行する事になり、当時、うるま市シルバー人材センター、南城市シルバー人材センター及び糸満市シルバー人材センターの3センターが、共同企業体「うないシルバー人材センター」を結成し、両青少年の家を管理運営してきました。

平成26年4月から両青少年の家は、それぞれ単独指定管理となり、石川青少年の家は「うるま市シルバー人材センター」、玉城青少年の家は「南城市シルバー人材センター」が指定管理をしています。この様なことから両青少年の家は、固いきずなで結ばれ事業執行や運営に連携を深めて来ました。昨年、石川青少年の家



すくすく育つ友情の椿「品種 久米紅」

わたがんじゅう隊



知識が広がりアットホーム的なお付き合いもできた

渡真利昭治さん(大里)



多くの友人ができて健康管理やメンタルケア等にも良し

徳田貞雄さん(玉城)



シルバーは自分の生活のリズムで就業できるから良い

大城晴美さん(大里)



路線バスを乗り継いで就業。健康になるので頑張れる。

知名定喜さん(玉城)

が新築したことに伴い、これまで前所長新屋岩男氏が丹精を込めて育てた椿(品種名 久米紅)の挿し木苗260本が友情の証として玉城青少年の家に寄贈されました。玉城青少年の家では、ふれあい広場に96本、いこいの広場のフェンス沿

い、運動広場周辺並びに炊飯棟、キャンプ場周辺や事務所裏に合わせて160本を植樹し、友情の椿園と名づけ、現在、椿はすくすくと成長し、来年の開花が待たれます。椿の植え付けには、シルバー会員の皆さんが、率先して携わっていただきました。玉城青少年の家では、新屋岩男氏のお志を大切に美しい椿の森にしたいと意気込んでいます。

あ、愛しのうちなীগチパトVIII

- 今回は、うちなーの「くがにくとうば」を取り上げてみました。(玉城宇武島誌より抜粋)
- **みたん** カンカラーぬどう ないる
- **ちなぬあまいや** ちかーりーしが ちゆぬあまいや ちかーらん
- **あまいや** ちかーらん
- **いーびや** めーんかいどう うーりーる
- **くめーきーねー** イナビ(細米) るないん
- **あまだいみじえー** しょうゆじけー

(公社)全国有料ホーム協会 シルバー川柳 入選作より

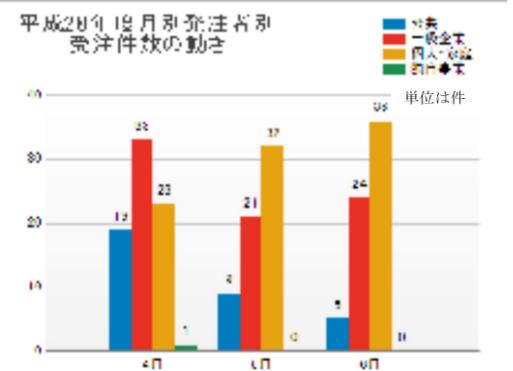
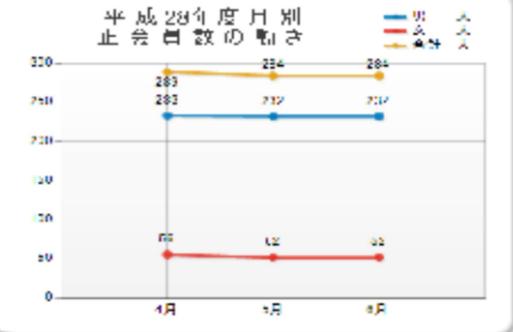
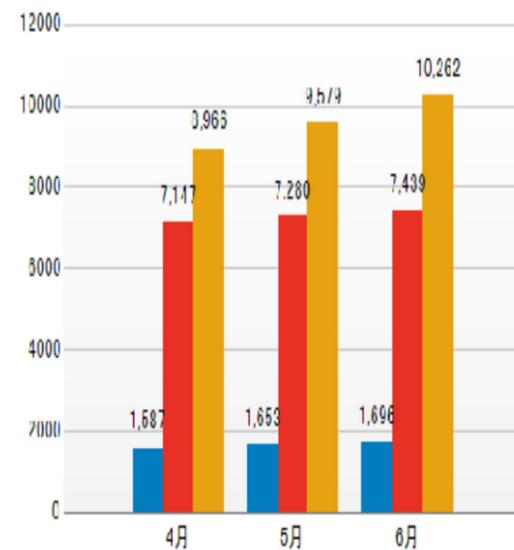
- ☆ 老人会 みんな名医に 早変わり
- ☆ 人生に 迷いはないが 道迷い
- ☆ お互いに ボケかトボケか 気が付かず
- ☆ 俺だって 死ねば再婚で 褒められる
- ☆ もったいない 気づけば 我が家は ごみ屋敷
- ☆ 想い出が 身辺整理の 邪魔をする
- ☆ 脳トレで 信じたくない 老いを知る
- ☆ 老いるとは 増える薬と 減る記憶
- ☆ 三度目は 聞こえたふりの 半笑い
- ☆ アルバムに 遺影用との 付箋あり

平成27年度事業実績

(対26年度実績比較)

項目	平成27年度実績	平成26年度実績	増減
会員数	283人	275人	8人
入会率	2.2%	2.1%	0.1%
就業実人員	198人	206人	△8人
就業率	70%	74.9%	△4.9%
就業延人員	20,636人日	22,023人日	△1,387人日
受注件数	754件	742件	12件
公共機関契約金額	45,713,487円	57,159,442円	△11,445,955円
企業契約金額	54,822,006円	58,158,108円	△3,336,102円
個人契約金額	11,439,757円	10,519,596円	△920,161円
独自事業契約金額	7,997,100円	1,060,315円	6,936,785円
総契約金額	119,972,350円	126,897,461円	△6,925,111円

平成28年度月別就業延人員、配分金、契約額の動き



平成28年度グラフで見る 4月～6月の動き



それぞれの持ち場は責任をもって仕上げる

# 仕事の風景

シルバーは地域生活応援隊  
懇切丁寧がモットーです



雑草をきれいに除去する



ボート遊びではありません。ボタン浮草の除去作業です



池の中に入ってのボタン浮草の除去作業



黙々と除草作業に取り組む



石垣へのコンクリート詰め作業



細かく丁寧に除草



心を込めて清掃作業



セメントを練る手さばきも鮮やか



危険防止のためのフェンスを補修中

### 趣味拝見 多彩な趣味と行動力 大湾政松さん

玉城班

詩吟を始めて早3年が経ちました。毎週土曜日午前11時から南城市中央公民館でけいこをしていきます。古謝景進さんに誘われ、不安の中で始めたが、今では生活の一部になっています。

毎朝、吟道精神を吟じ、1日がスタートします。詩吟は漢詩に始まり、和歌、俳句、琉球漢詩と作者の気分をもって吟じ、その気

詩吟を始めて良かったことは、師匠の上原岳宗先生に出会ったことです。沖繩海邦岳風会の会長でもある先生に50代から始めました。

私には、もう一つ趣味があります。3日に1回筋トレに励んでいます。体幹を鍛えるために50代から始めました。

11月の5段挑戦に向けて、現在、漢詩「望湖樓の醉書」を吟じています。

格までいただき、

### 会員さん登場

#### 浜 章吾さん

#### 南城市玉城

岡山県出身の浜さん、写真関係や大型積載車の新車配達等の仕事をやっていたが、退職を機に息子が住んでいる沖繩へ移住、南城市出身の嫁さんとともに今年、2世帯住宅を新築しました。

若いころから沖繩が大好きでダイビングやオープンウォーター、トライアスロンを楽しむことができたそうです。

岡山県では57歳の時、

で出場し、見事優勝した実力者です。

今年10月には第1回オープンウォーター南城市大会が開催されることになっており、60代の部にエントリー予定で早速、ユインチホテルでトレーニングを始めたそうです。

シルバーへは今年5月に入会、斎場御嶽の駐車場案内やサンサンビーチの入場管理などに就業しています。



競技中の浜さん

### シルバーに入会して

#### こえ 良い刺激・健康に良い

平成28年度に入会しました。退職して4年が過ぎ、2年間続けてきたボランティアの仕事を終えた頃です。自分に都合のいい時に出来る仕事はないかと探しているときに、南城市シルバー人材センターのことを知りました。

週に1日から2日の草刈り作業をしています。シルバーの先輩方とともに作業



井上園市さん 大里班

をすることで、私自身いくつかの変化が出てきました。まず、健康で明るく元気な先輩方との交流を通して、良



合吟を吟ずる綾雲会の皆さん (左端大湾さん)

い刺激を受けることができました。さらに適度の肉体労働で寝つきがよくなったことも収穫の一つです。これからも無理をしない範囲で、みんなと協力し合いながら楽しくシルバーの仕事が続けられたらと考えています。

### 事務局に 宮城鈴香さん配置



今年度

南城市からの委託事業として、事務局として紹介した介護・日常生活支援事業のスタッフとして、宮城鈴香さん(写真)が4月5日付で事務局に配置されました。

宮城さんは、介護・日常生活支援者の配置や、訪問記録の作成などを担当しています。

「会員のお手伝いが出来れば大変うれしです。まだ、3カ月ですが大先輩の会員さんから毎日元気をいただき、明るく頑張ります。」と愛くるしい瞳を輝かせながら笑顔で抱負を述べてくれました。

会員の皆さんゆたしくうにげくさびら。

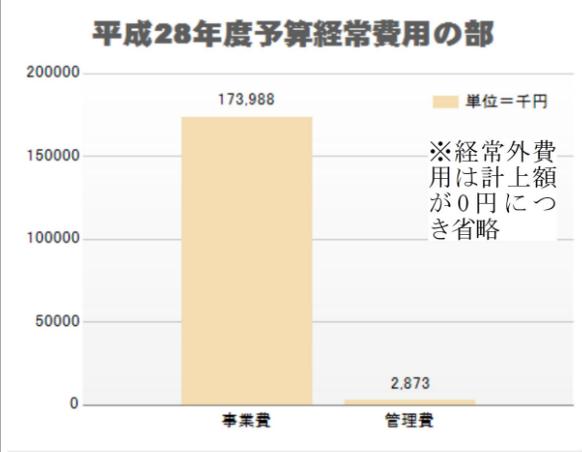
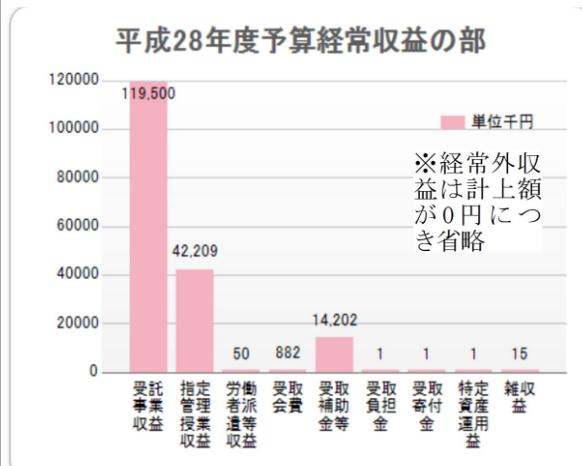
### (平成28年度定時総会より) 本年度事業計画 (要旨)

本センターは、国や南城市の高齢社会対策を支える重要な組織として、法令を順守し、適正な受託と就業に努めるとともに、安全委員会を中心に、「事故ゼロ」、「安全第一」を目標に掲げ事業の推進に当たります。

事業推進に当たっては、センターの活動実績を表す最も重要な指標「第二次中間事業計画」の目標達成を目指し、会員・役員が一体となって取り組みます。

**1 基本理念**  
南城市に居住する高齢者が自主的な組織参加と労働能力の発揮により、組織の基本理念「自主・自立・共働・共助」のもとに、地域の担い手として高齢者の活力及び地域社会の活力向上を目指す。

**2 基本方針**  
(1) 高齢者の入会促進と社会参加を促進するため就業機会の確保、拡大に努める。  
(2) 安全・適正就業を推進し、安全で魅力ある



し、安定的な就業機会の確保に努める。

(2) 雇用による就業機会の確保提供事業  
ア 有料職業紹介事業  
雇用による就業を希望する会員及び地域高齢者への職業紹介による就業機会の提供に努める。  
イ 一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)一般労働者派遣希望の正会員の就業機会の確保に努める。

(3) 高齢者の就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会等を実施。

(4) 普及啓発事業  
ア 地域の高齢者に対し、シルバー事業を周知する。  
イ 広報紙「くがに」を発行し、事業の普及啓発を図る。  
ウ 本センターのホームページや市広報紙による情報提供を行う。  
エ 行政や自治会、各種団体との連携強化を図る。  
オ ボランティア活動中に「シルバーのぼり」を掲示する。

(5) 安全・適正就業推進事

業

(6) 調査研究事業  
社会のニーズに対応した事業展開のため、満足度や意識調査の実施。

(7) 就業開拓・拡大事業  
ア 就業開拓員による公共、家庭、企業等の訪問。理事等による企業訪問。  
イ 会員による地域訪問。  
エ 会員拡大・相談・情報提供事業  
ア 入会説明会・相談会を毎月実施。  
イ 入会「口コミ運動」や広報紙へ会員の声や就業体験等を紹介し情報を提供する。  
エ 社会参加促進事業  
ア ボランティア希望の高齢者に活動機会の提供。  
イ 会員のボランティア活動の定着を図る。  
(10) 知識と知恵を発揮した独自事業で、就業拡大と財政安定に繋げる。汚泥発酵肥料「くがに1号」の生産販売を軸に充実した事業運営に取り組み。指定管理事業  
高齢者の知識と経験を生かした玉城青少年の家の事業運営で、シルバーの就業拡大に繋げる。

**5 運営体制**  
センターを適正かつ効率的に運営するため、次のとおり取り組む。

① 運営体制の充実  
② 事務局体制の充実  
③ 会議の開催

